

令和5年度 入学者選抜要項

◇美術工芸学部の学校推薦型選抜及び一般選抜後期日程の絵画専攻・工芸専攻については、遠隔入試*を実施します。

◇試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった入学志願者は、音楽学部の学校推薦型選抜を除き、追試験を受験することができます。*

*遠隔入試とは、受験生が来校せずに受験する選抜試験を指し、郵送(提出)、オンライン、メール、(携帯)電話等を利用した試験のことです。

**追試験の受験には、医師の診断書が必要です。詳細については対象者に本学より連絡を行います。

令和4年7月



〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 (098)882-5080

<http://www.okigei.ac.jp>

令和4年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜要項

目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員	3
第3	一般選抜	3
第4	学校推薦型選抜	7
第5	社会人選抜	10
第6	私費外国人留学生選抜	11
第7	その他	
1	障がい有する等の入学志願者との事前相談について	12
2	資料の入手、大学案内の請求	12
3	出願方法について	12
4	入学考査料について	12
5	受験票	13
6	個人情報の取扱い	13
7	入試成績開示請求について	13
8	備考	14
別表1	入学者選抜方法一覧	15
別表2	入学者選抜試験の実施教科・配点等（美術工芸学部）	16
別表2-2	入学者選抜試験（学校推薦型選抜）の実施教科・配点等 （美術工芸学部）	17
別表3	入学者選抜試験の実施教科・配点等（音楽学部）	18

令和5年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人材

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と個別学力検査等（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、美術工芸学部では、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。音楽学部では、国語、外国語の合計2科目を試験科目として課します。
- ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
- ・音楽学部の社会人選抜においては、個別学力検査等（専攻試験、小論文等）を実施します。

いずれの試験においても、本学での学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

○大学

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探究し、解決する能力を身につけている。

○美術工芸学部

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、大学ディプロマ・ポリシーを基本に、加えて以下に掲げる学修成果を獲得し、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。
- 2 自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。
- 3 専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。
- 4 卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。

○音楽学部

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について体系的に理解している。
- 2 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について歴史、文化、社会、自然と関連付けて理解できている。
- 3 課題解決に必要な汎用的能力（論理的思考力、情報リテラシー、コミュニケーション・スキル等）を身につけている。
- 4 各分野の専門的な知識・技能と研究能力を身につけている。
- 5 卒業後も社会における自己の役割を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 6 獲得した知識や能力等を活用し、自らの課題を発見し解決する能力を身につけている。

第2 募集人員

学部	学科	専攻	コース	定員	募集人員					
					一般選抜		学校推薦型選抜		社会人選抜	私費外国人留学生選抜
					前期日程	後期日程	県内枠	全国枠		
美術工芸学部	美術学科	絵画専攻		10	4	4	1	1	0	若干名
		彫刻専攻		5	3	2	0	0	0	若干名
		芸術学専攻		6	4	0	1	1	0	若干名
	デザイン工芸学科	デザイン専攻		20	14	0	3	3	0	若干名
		工芸専攻		24	10	4	5	5	0	若干名
計				65	35	10	10	10	0	若干名
音楽学部	音楽学科	音楽表現専攻	声楽	23	17	0	3	3	0	若干名
			ピアノ							
			弦楽							
			管打楽							
	音楽文化専攻	沖縄文化	7	4	0	2	1	0	若干名	
		音楽学								
琉球芸能専攻	琉球古典音楽	10	5	0	4	1	若干名	若干名		
	琉球舞踊組踊									
計				40	26	0	9	5	若干名	若干名
合計				105	61	10	19	15	若干名	若干名

注1：学校推薦型選抜の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加える。

注2：学校推薦型選抜の県内、全国それぞれの枠で定員に満たなかった人員は他方の枠に算入することがある。

注3：社会人選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

注4：私費外国人留学生選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

*絵画専攻では、令和6年度入試から一般選抜の募集人員を前期5名、後期3名へ変更する。

第3 一般選抜

1 出願資格

次の各号の一に該当し、令和5年度大学入学共通テストを受験した者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者

- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和4年10月14日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）

2 選抜方法等

本学の入学者選抜は、美術工芸学部美術学科絵画専攻、彫刻専攻及びデザイン工芸学科工芸専攻は分離・分割方式の前・後期日程、美術工芸学部美術学科芸術学専攻、デザイン工芸学科デザイン専攻及び音楽学部は分離・分割方式の前期日程により行う。

2段階選抜や帰国子女等のための特別選抜及び定員保留第2次募集は行わない。

- 美術工芸学部： 大学入学共通テストの得点と本学が実施する個別学力検査等の得点を合計して総合得点とし、専攻内の総合得点の上位から順に合格者とする。また、調査書も参考にする。
- 音楽学部： 第1次試験の合否判定は、専攻別試験のそれぞれの成績によって行う。ただし、音楽文化専攻においては大学入学共通テストの成績も、第1次試験の合否判定に用いる。最終合否判定は、専攻別試験、音楽に関する基礎能力検査及び大学入学共通テストの得点、並びに調査書の結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(1) 大学入学共通テスト

受験を要する教科・科目及び配点は、別表2（16ページ）・別表3（18ページ）による。なお、各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象にする。また本学では、大学入学共通テストの過年度成績は利用しない。

(2) 個別学力検査等

(ア) 美術工芸学部

I 前期日程試験科目

試験科目 学科・専攻		実技検査					小論文	面接
		素描	着彩	色彩構成	立体構成	塑造		
美術学科	絵画専攻	◎	◎					◎
	彫刻専攻	◎				◎		◎
	芸術学専攻	○					○	◎
デザイン工芸学科	デザイン専攻	◎		◎	◎			◎
	工芸専攻	◎		◎				◎

- 注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。○印は選択科目を示す。
 注2：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを出願時に選択する。
 注3：芸術学専攻は、実技（素描）と小論文のいずれかを出願時に選択する。
 注4：デザイン専攻及び工芸専攻の面接試験はプレゼンテーションを含む。

II 後期日程試験科目

試験科目 学科・専攻名		実技検査						小論文	面接	
		素描	着彩	色彩構成	作品資料	素描	塑造		提出型	対面
美術学科	絵画専攻		◎		◎			◎		◎
	彫刻専攻					◎	◎		◎	
デザイン工芸学科	工芸専攻	◎		◎						◎

- 注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。
 注2：絵画専攻及び工芸専攻は遠隔入試とする。
 注3：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを出願時に選択する。
 注4：工芸専攻の面接試験はプレゼンテーションを含む。

(イ) 音楽学部

試験科目 専攻・コース		専攻試験 (第1次試験)					音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)					面接
		実技 検査	コール ユンブ ンゲン	初見 視唱	小論文	口述 試験	楽典 (※注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	音楽又は 舞踊の実技 (※注3)	
音楽 表現 専攻	声楽 コース	◎	◎				◎	○	○	◎		◎
	ピアノ コース	◎					◎	◎	◎			◎
	弦楽 コース	◎					◎	○	○	◎		◎
	管打楽 コース	◎					◎	○	○	◎		◎
	作曲理論 コース	◎				◎	◎	◎		◎		◎
音楽文化 専攻	沖縄文化 コース				◎	◎	◎				◎	◎
	音楽学 コース				◎	◎	◎	○	○	◎		◎
琉球芸能 専攻	琉球古典音楽 コース	◎					◎					◎
	琉球舞踊組踊 コース	◎		◎			◎					◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目、○印は、「いずれか1つの科目を選択する」を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器
(A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

注5：弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注6：各専攻の個別学力検査等(実技検査を含む)については、第1次試験と第2次試験に分けて実施するが、第2次試験については、第1次試験合格者についてのみ実施する。

注7：各専攻の実技検査の試験曲については、「音楽学部試験曲」に掲載する。

「音楽学部試験曲」の入手方法は12ページ参照のこと。

【併願可能な専攻・コース】

第2志望		音楽表現専攻				音楽文化専攻		琉球芸能専攻		
		声楽コース	ピアノコース	弦楽コース	管打楽コース	作曲理論コース	沖縄文化コース	音楽学コース	琉球古典音楽コース	琉球舞踊組踊コース
第1志望	音楽表現専攻					○	○	○		
	声楽コース					○	○	○		
	ピアノコース	○				○	○	○		
	弦楽コース					○	○	○		
	管打楽コース					○	○	○		
	作曲理論コース	○					○	○		
	音楽文化専攻							○	○	○
	沖縄文化コース							○	○	○
	音楽学コース	○					○			
	琉球芸能専攻						○			○
琉球古典音楽コース						○			○	
琉球舞踊組踊コース						○		○		

注：併願の場合には、第1志望の試験科目（専攻試験、音楽に関する基礎能力検査）に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。

ただし、

- ①音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では音楽学コースの科目を受験すること。
- ②音楽表現専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、受験する音楽表現専攻各コースの試験科目を受験すること。
- ③第2志望で作曲理論コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では作曲理論コースの試験科目を受験すること。（ピアノコースを除く）

3 出願期間及び選抜期日

学部	学科	日程及び専攻	出願期間	選抜期日	追試験
美術工芸学部	美術学科	<前期日程> 絵画専攻、彫刻専攻、芸術学専攻	令和5年 1月23日(月)～ 2月3日(金)	令和5年 2月25日(土)～ 2月27日(月)	令和5年 3月23日(木)～ 3月24日(金)
		<後期日程> 絵画専攻、彫刻専攻		令和5年 3月12日(日)～ 3月14日(火)	
	デザイン工芸学科	<前期日程> デザイン専攻、工芸専攻		令和5年 2月25日(土)～ 2月27日(月)	
	<後期日程> 工芸専攻	令和5年 3月12日(日)～ 3月14日(火)			
音楽学部	音楽学科	<前期日程> 音楽表現専攻、音楽文化専攻、琉球芸能専攻		令和5年 2月25日(土)～ 2月27日(月)	

4 合格者の発表

<前期日程試験>

令和5年3月6日(月)午後2時

※本学ホームページ掲載 ([URL:http://www.okigei.ac.jp/](http://www.okigei.ac.jp/))

<後期日程試験>

令和5年3月20日(月)午前10時

※本学ホームページ掲載 ([URL:http://www.okigei.ac.jp/](http://www.okigei.ac.jp/))

※URL変更の可能性あり

5 入学手続期間

<前期日程試験合格者>

令和5年3月8日（水）～3月15日（水）

<後期日程試験合格者>

令和5年3月22日（水）～3月27日（月）

第4 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜の概要は次のとおりである。

1 募集人員・出願資格・推薦人員・選抜方法

(1) 美術工芸学部

(ア) 募集人員

学科	専攻	募集人員	
		県内枠	全国枠
美術学科	絵画専攻	1人	1人
	芸術学専攻	1人	1人
デザイン工芸学科	デザイン専攻	3人	3人
	工芸専攻	5人	5人
計		20人	

(イ) 出願資格

次の要件をすべて満たしている者

- ① 高等学校又は中等教育学校を令和5年3月に卒業見込みの者（令和4年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）
なお、県内枠に該当する受験者は、沖縄県内の高等学校を令和5年3月に卒業見込みの者（令和4年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、本人又は保護者が令和4年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者とする。
- ② 学業成績・人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③ 調査書の学習成績概評がB段階以上の者
- ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(ウ) 推薦人員

学科	専攻	推薦人員
美術学科	絵画専攻	1高等学校につき2人まで
	芸術学専攻	1高等学校につき2人まで
デザイン工芸学科	デザイン専攻	1高等学校につき2人まで
	工芸専攻	1高等学校につき2人まで

(エ) 選抜方法

① 絵画専攻・デザイン専攻・工芸専攻について

大学入学共通テストを免除し、出身学校長が作成した調査書・推薦書・志望理由書等の出願書類及び課題作品、小論文、面接の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。
※課題作品・小論文については、募集要項で発表する。

② 芸術学専攻について

大学入学共通テストを免除し、出身学校長が作成した調査書・推薦書・志望理由書等の出願書類及び小論文、面接、口述試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。
※小論文については、募集要項で発表する。

(オ) 個別学力検査等

学科・専攻		試験科目			
		小論文	課題作品	面接	口述試験
美術学科	絵画専攻	◎	◎	◎	
	芸術学専攻	◎		◎	◎
デザイン工芸学科	デザイン専攻	◎	◎	◎ [注]	
	工芸専攻	◎	◎	◎	

注：デザイン専攻の面接試験の参考資料として作品資料を提出する。

(2) 音楽学部

(ア) 募集人員

学科	専攻	募集人員	
		県内枠	全国枠
音楽学科	音楽表現専攻	3人	3人
	音楽文化専攻	2人	1人
	琉球芸能専攻	4人	1人
計		9人	5人

(イ) 出願資格

次の要件をすべて満たしている者

- ① 高等学校又は中等教育学校を令和5年3月に卒業見込みの者（令和4年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）

なお、県内枠に該当する受験者は、沖縄県内の高等学校を令和5年3月に卒業見込みの者（令和4年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、本人又は保護者が令和4年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者とする。

- ② 学業成績・人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 ③ 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者。ただし琉球芸能専攻受験者は3.0以上の者
 ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

注1：出願できる専攻・コースは一つとする。

(ウ) 推薦人員

学科	専攻・コース		推薦人員	
音楽学科	音楽表現専攻	声乐コース	1高等学校につき各コース2人まで	
		ピアノコース		
	弦楽コース	1高等学校につき各コース2人まで		
管打楽コース				
	音楽文化専攻	沖縄文化コース	1高等学校につき各コース2人まで	
		音楽学コース		
	琉球芸能専攻	県内	制限しない	
		県外	1高等学校につき1人	

(エ) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、出身学校長が作成した調査書・推薦書・志望理由書等の出願書類及び実技、小論文、面接、音楽に関する基礎能力検査等の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(オ) 個別学力検査等

試験科目 専攻・コース		専攻試験					音楽に関する基礎能力検査					面接
		実技検査	コールユープンゲン	初見視唱	小論文	口述試験	楽典 <small>(※注2)</small>	聴音	新曲視唱	副科ピアノ	音楽又は舞踊の実技 <small>(※注3)</small>	
音楽表現専攻	声楽コース	◎	◎				◎	○	○	◎		◎
	ピアノコース	◎					◎	◎	◎			◎
	弦楽コース	◎					◎	○	○	◎		◎
	管打楽コース	◎					◎	○	○	◎		◎
	作曲理論コース					◎	◎	◎		◎		◎
音楽文化専攻	沖縄文化コース				◎	◎	◎				◎	◎
	音楽学コース				◎	◎	◎	○	○	◎		◎
琉球芸能専攻	琉球古典音楽コース	◎					◎					◎
	琉球舞踊組踊コース	◎		◎			◎					◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目、○印は、「いずれか1つの科目を選択する」を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器
(A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

注5：各専攻の実技検査の試験曲については、「音楽学部試験曲」に掲載する。

「音楽学部試験曲」の入手方法は12ページ参照のこと。

2 出願期間及び選抜期日

学部	学科	専攻	出願期間	選抜期日	追試験
美術工芸学部	美術学科	絵画専攻	令和4年 11月1日(火) ～ 11月8日(火)	令和4年 11月19日(土) ～ 11月20日(日)	令和4年 11月26日(土) ～ 11月27日(日)
		芸術学専攻			
	デザイン学科	デザイン専攻			
		工芸専攻			
音楽学部	音楽学科	音楽表現専攻			
		音楽文化専攻			
		琉球芸能専攻			

3 合格者の発表

令和4年12月2日（金）午前10時 ※本学ホームページに掲載（URL:<http://www.okigei.ac.jp/>）
※URL変更の可能性あり

4 入学手続期間

令和4年12月9日（金）～12月16日（金）

第5 社会人選抜

社会人選抜の概要は次のとおりである。

1 募集人員

学部	学科	専攻	募集人員
音楽学部	音楽学科	琉球芸能専攻	若干名（注）

注：一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

2 出願資格

次の各号の一に該当する者で、令和5年4月1日現在、社会人（就職・就学の有無は問わない）として4年以上経過し、かつ22歳以上の者

- （1）高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- （3）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及びこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
- （4）文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- （5）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- （6）法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- （7）高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者

3 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、志願理由書、履歴書等の出願書類及び実技、面接、小論文、口述試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

4 出願期間及び選抜期日

学部	学科	専攻	出願期間	選抜期日	追試験
音楽学部	音楽学科	琉球芸能専攻	令和5年 1月23日（月） ～2月3日（金）	令和5年 2月25日（土） ～2月27日（月）	令和5年 3月23日（木） ～3月24日（金）

5 合格者の発表

令和5年3月6日（月）午後2時 ※本学ホームページ掲載（URL:<http://www.okigei.ac.jp/>）
※URL変更の可能性あり

6 入学手続期間

令和5年3月8日（水）～3月15日（水）

第6 私費外国人留学生選抜

1 出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ入学時において18歳に達していること。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2022年度第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者
- (4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
- (5) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験N2レベル以上相当を目安とする）
（注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における3年間の教育課程を履修し、かつ卒業した者（令和5年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に取り扱う。

2 募集人員

若干名（一般選抜の前期日程の募集人員を含む）

3 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストを免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。
 - ①2022年度第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績
 - ②一般選抜志願者と同一の個別学力検査等を課した成績
 - ③出願書類等日本留学試験については、独立行政法人日本学生支援機構に照会すること。

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 03-6407-7457

- (2) 個別学力検査等については、この要項の4～7ページを参照すること。

4 出願期間及び選抜期日

学部	出願期間	選抜期日	追試験
美術工芸学部	令和5年 1月23日（月） ～2月3日（金）	令和5年 2月25日（土） ～2月27日（月）	令和5年 3月23日（木） ～3月24日（金）
音楽学部			

5 合格者の発表

令和5年3月6日（月）午後2時 ※本学ホームページ掲載（URL:<http://www.okigei.ac.jp/>）
※URL変更の可能性あり

6 入学手続期間

令和5年3月8日（水）～3月15日（水）

第7 その他

1 障がい有する等の入学志願者の事前相談について

障がい有する者等で、受験時に合理的な配慮を必要とする入学志願者は、あらかじめ本学に申し出ること。事前相談の時期、方法等については募集要項に明記する。

2 資料の入手、大学案内の請求

【資料入手の時期】

本学ホームページよりダウンロードすること。

(URL : <http://www.okigei.ac.jp/examination/ex-order.html>)

※URL変更の可能性あり

資料名	本学ホームページ 掲載時期
大学案内	掲載済
学校推薦型選抜学生募集要項	7月下旬
美術工芸学部学生募集要項	8月下旬
音楽学部学生募集要項	8月下旬
音楽学部試験曲	8月下旬

※大学案内のみ冊子の請求が可能。請求方法は上記の本学ホームページURLを確認すること。

3 出願方法について

本学の各入学試験はオンライン出願で行う。本学ホームページからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

オンライン出願の際は、下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要があり、その提出までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

*出願手続については「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

沖縄県立芸術大学オンライン出願ページ

(URL : <http://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

- ①入学志願票 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスに送付されるメールに記載されたURL（以下「マイページ」）から入学志願票を印刷し提出すること
- ②調査書 文部科学省所定の様式に従い、出身高等学校長が作成し厳封したものを提出すること。過卒（卒業等学籍に関する記録：20年、指導に関する記録：5年を経過）した場合、及び廃校・被災等その他の事情によって調査書が得られなかった場合、卒業証明書又は成績証明書を提出すること。
- ③その他の書類 入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和4年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。

4 入学考査料について

各試験 17,000円

オンライン出願ページの指示に従い、出願期間内に納付すること。

(クレジットカード、コンビニ支払い、ペイジー (Pay-easy) 支払いが可能)

※別途手数料がかかるため留意すること。

※いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

5 受験票

受験票は、出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。

6 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の利用目的について

出願及び入学手続きにあたって記入した氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

- ①入学試験実施（出願処理、受験票及び実施要項送付、試験実施）
- ②合否通知、入学手続き書類の送付
- ③学生の福利厚生に資する情報の提供
- ④学業および学生生活に関する管理、連絡および手続き
- ⑤大学の施設・設備の仕様に関する管理、連絡および手続き
- ⑥本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
- ⑦個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

また、進路指導上、教育上の必要に応じて、受験者の入試結果および成績概要、在学中の履修状況や進路状況等を出身高校にお知らせすることがある。その際は本学と出身高校において守秘を前提とした万全の措置のもとに行う。

(2) 個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

- ①利用者の事前の承諾を得た場合
- ②業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
- ③法令の定めにより提供を求められた場合

(3) 情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から事故情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

7 入試成績開示請求について

沖縄県個人情報保護条例に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の開示を請求することができる。

(1) 開示内容

当該年度入試の個人成績を得点又は段階評価で開示する。

(2) 開示請求できる期間

学校推薦型選抜：令和4年12月23日（金）～令和4年12月28日（水）
及び令和5年4月14日（金）～令和5年5月15日（月）
（午前9時から午後5時まで）

一般選抜：令和5年4月14日（金）～令和5年5月15日（月）
（午前9時から午後5時まで）

但し、土・日、祝日等休業となる日は除く。

(3) 開示請求の受付を行う場所

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

(4) 開示の方法

本人部分のみ閲覧

(5) 開示請求に必要な書類

受験票のほか、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。

(6) 開示請求

受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。

(7) その他

電話による問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な方の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、本学ホームページを確認すること。

8 備考

新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、入試科目の見直し、試験方法及び日程の変更を行う場合がある。その場合は本学ホームページで告知する。

別表1

令和5年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜方法一覧
 (一般選抜、専門学科・総合学科卒業生選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国子女選抜、社会人選抜)

選 抜 方 法 等	一 般 選 抜										専 門 学 科 ・ 総 合 学 科 卒 業 生 選 抜	総 合 型 選 抜	個 別 学 力 調 査 等 の 日 程	欠 員 補 充 の 方 法 等	学 校 推 薦 型 選 抜										備 考				
	個 別 学 力 検 査 等														学 校 推 薦 型 選 抜 入 試 募 集 人 員	帰 国 子 女 選 抜 ・ 社 会 人 選 抜													
	個 別 学 力 検 査 を 課 す る	実 技 検 査 等					2 段 階 選 抜									個 別 学 力 検 査 を 免 除 し 大 学 入 学 共 通 テ ス ト を 課 す る	個 別 学 力 検 査 を 免 除 し 大 学 入 学 共 通 テ ス ト を 課 す る	実 技 調 査 等											
		実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	口 述 試 験 を 課 す る	外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	主 として、調 査 書 の 内 容 と 大 学 入 学 共 通 テ ス ト の 成 績 に よ り 第 1 段 階 の 選 抜 を 行 い、そ の 合 格 者 に つ い て 更 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に よ り 合 格 者 数		実 技 検 査 を 課 す る								面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	口 述 試 験 を 課 す る	外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	そ の 他	帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女		社 会 人			
学 部 ・ 学 科 専 攻 名	美 術 学 科	絵 画 攻 専	×	○	○	×	×		×	×	×	×	×	前期：2月25日～27日	追 加 合 格	×	○	○	○	○	×	×	×	2	×	×	×		
			×	○	○	○	×		×	×	×	×	×	×		後期：3月12日～14日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	工 芸 学 科	彫 刻 攻 専	×	○	○	×	×		×	×	×	×	×	前期：2月25日～27日	追 加 合 格	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
			×	○	○	○	×		×	×	×	×	×	後期：3月12日～14日		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
学 部	デ ザ イ ン 工 芸 学 科	芸術学専攻	×	○ (注1)	○	○ (注1)	×		×	×	×	×	×	2月25日～27日	追 加 合 格	×	○	×	○	○	○	×	×	×	2	×	×	×	
		デザイン専攻	×	○	○	×	×		×	×	×	×	×	2月25日～27日	追 加 合 格	×	○	○	○	○	×	×	×	6	×	×	×		
		工芸専攻	×	○	○	×	×		×	×	×	×	×	前期：2月25日～27日	追 加 合 格	×	○	○	○	○	×	×	×	10	×	×	×		
×	○	○	×	×		×	×	×	×	×	後期：3月12日～14日	×	○	○		○	○	○	×	×	×	3	×	×	×				
音 楽 学 部	音 楽 学 科	音楽表現専攻	×	○	○	×	○ (注2)		×	×	×	×	×	2月25日～27日	追 加 合 格	×	○	○	○	×	○ (注2)	×	×	6	×	×	×		
		音楽文化専攻	×	○	○	○	○		×	×	×	×	×	2月25日～27日	追 加 合 格	×	○	○	○	○	○	×	×	3	×	×	×		
		琉球芸能専攻	×	○	○	×	×		×	×	×	×	×	2月25日～27日	追 加 合 格	×	○	○	○	×	×	×	×	5	×	×	○		

注1：芸術学専攻は、実技検査と小論文のいずれかを選択する。

注2：口述試験は、音楽表現専攻作曲理論コースのみ

注3：新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、試験の実施方法は、遠隔による試験になる可能性があります。

別表2

令和5年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験（一般選抜）の実施教科・配点等（美術工芸学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和4年度 志願倍率〕			学力検査等 の区分・ 日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等	
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科 注1	外国語 注2英 (50:50)	小論文	実技	面接		配点 合計
美術工 芸学部 (2.7) 65人 前期 35 後期 10 その他 20	美術学科 21人 前期 11 後期 6 その他 4	絵画専攻 前期 4 後期 4 その他 2	前期 2/25～ 2/27 後期 3/12～ 3/14	国語	国を必ず受験	その他	前期 実技検査 (素描) (着彩) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)				300	推薦 外国人 追加合格	
								個別学力検査等							600	100	700			
								計	100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)		600	100	1000		
		後期 実技検査 (着彩) (作品資料) 小論文 面接						共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)				300		
								個別学力検査等							100	500	100	700		
								計	100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)	100	500	100	1000		
	彫刻専攻 前期 3 後期 2	前期 2/25～ 2/27 後期 3/12～ 3/14	その他	実技検査 (素描) (塑造) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)			300	外国人 追加合格					
					個別学力検査等							600	100	700						
					計	100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)		600	100		1000				
	芸術学 専攻 前期 4 その他 2	前期 2/25～ 2/27	その他	実技検査 (素描) 小論文 面接	共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200 (100:100)			600	推薦 外国人 追加合格				
					個別学力検査等							*300	*300	100	400					
					計	200	*200	*200	*200	*200	200 (100:100)	*300	*300	100	1000					
デザイン 工芸学科 44人 前期 24 後期 4 その他 16	デザイン 専攻 前期 14 その他 6	前期 2/25～ 2/27	実技検査 (素描) (色彩構成) (立体構成) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)			300	推薦 外国人 追加合格					
				個別学力検査等								600	100	700						
				計	100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)		600	100	1000						
	工芸専攻 前期 10 後期 4 その他 10	前期 2/25～ 2/27 後期 3/12～ 3/14	その他	実技検査 (素描) (色彩構成) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)			300	推薦 外国人 追加合格				
					個別学力検査等								600	100	700					
					計	100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)		600	100	1000					

注1 「理科」の基礎を付した科目を選択する場合には、必ず「理科」の基礎を付した科目から2科目を選択しなければならない。なお、その際の選択科目の総数は、「理科」の基礎を付した科目を選択しない場合に比べて、1科目増えることに注意すること。

注2 英語については、リーディング(R)とリスニング(L)の配点を(R:L)と表し、その合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

【大学入学共通テスト】欄

(1)各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象にする。また本学では、大学入試共通テストの過年度成績は利用しない。

(2)英語については、筆記試験とリスニングテストの合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

(3)理科の基礎を付した科目については、選択した2科目の合計得点を各専攻の理科の配点に換算して利用する。

【大学入学共通テストの配点等】欄

(1)配点に*印を付してある教科・個別学力検査等は選択教科・個別学力検査等を表す。

令和 5 年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験(学校推薦型選抜) の実施教科・配点等 (美術工芸学部)

学部・学科等名及び入学定員等			学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	小論文	課題作品	面接	口述試験	配点合計
美術工芸学部 学校推薦型選抜 20	美術学科 学校推薦型選抜 4	絵画専攻 学校推薦型選抜 2	学校推薦型選抜 11/19～20 いずれか1日	免 除		その他	課題作品 小論文 面接		個別学力検査等	200	400	100		700
		その他				小論文 口述試験 面接		個別学力検査等	500		200	300	1,000	
	デザイン工芸学科 学校推薦型選抜 16	デザイン専攻 学校推薦型選抜 6				その他	課題作品 小論文 面接		個別学力検査等	300	300	300	[注]	900
		工芸専攻 学校推薦型選抜 10				その他	課題作品 小論文 面接		個別学力検査等	200	400	200		800

注 デザイン専攻の面接試験の参考資料として作品資料を提出する。

別表3

令和5年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等（音楽学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和4年度 志願倍率〕			学力検査等 区分・ 日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	外国語 *英(R:L)	専攻 試験	音楽に 関する基礎 能力検査	面接	配点 合計		
音楽学部 (1.9) 40人 前期26 推薦14	音楽学科 40人 前期26 推薦14	音楽表現 専攻 推薦6	学校推薦 型選抜 11/19～ 11/20	免除	その他	〔声乐コース〕 実技検査、コールユーブンゲン、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接	個別学力検査等				500	200	50	750			
		〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、新曲視唱、面接															
		〔弦楽コース〕 実技検査、楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接															
		音楽文化 専攻 推薦3	一般選抜 前期 2/25～ 2/27	国語 外国語	国を必ず受験 英, 独, 仏, 中, 韓から1を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔2教科2科目〕	その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、 音楽または舞踊の実技、面接	個別学力検査等				500	200	50	750		
	〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接																
	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接																
		琉球芸能 専攻 推薦5	一般選抜 前期 2/25～ 2/27	国語 外国語	国を必ず受験 英, 独, 仏, 中, 韓から1を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔2教科2科目〕	その他	〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	個別学力検査等				600	100	50	750		
	〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接																
	〔作曲理論コース〕 口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接																
		音楽表現 専攻 前期17	一般選抜 前期 2/25～ 2/27	国語 外国語	国を必ず受験 英, 独, 仏, 中, 韓から1を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔2教科2科目〕	その他	〔声乐コース〕 実技検査、コールユーブンゲン、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接	大学入学共通テスト	100	100 (50:50)					200		
〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、新曲視唱、面接	個別学力検査等	550					200									50	800
〔弦楽コース〕 実技検査、楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接	計	100					100 (50:50)									550	200
	音楽文化 専攻 前期4	一般選抜 前期 2/25～ 2/27	国語 外国語	国を必ず受験 英, 独, 仏, 中, 韓から1を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔2教科2科目〕	その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、 音楽または舞踊の実技、面接	大学入学共通テスト	200	200 (160:40)					400			
〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接	個別学力検査等					400									200	50	650
〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接	計					200									200 (160:40)	400	200
	琉球芸能 専攻 前期5	一般選抜 前期 2/25～ 2/27	国語 外国語	国を必ず受験 英, 独, 仏, 中, 韓から1を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔2教科2科目〕	その他	〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	大学入学共通テスト	100	100 (50:50)					200			
〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	個別学力検査等					600									150	50	800
〔作曲理論コース〕 実技検査、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接	計					100									100 (50:50)	600	150
	社会人	社会人	免除	免除	その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、小論文、口述試験、面接	個別学力検査等				600	350 (注)	50	1,000			
					〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、小論文、口述試験、面接												

(注) 社会人選抜では、小論文及び口述試験とする。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(1) 本学では、大学入学共通テストの過年度成績は利用しない。

(2) 英語については、リーディング(R)とリスニング(L)の配点を(R:L)と表し、その合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。